

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



タイトル「えがお」



ペンネーム みーちゃん 5歳

<表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味があればご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明（30字程度）③掲載するお名前 ④学年（年齢）⑤保護者の方の連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

2月10日号の予定			2月25日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	2月9日（火）	午後	封入作業	2月24日（水）	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）
発送作業	2月10日（水）	午前	発送作業	2月25日（木）	午前	

交流会（飛島村交流会 大もちつき大会）

11月28日（土）に行われた交流会に参加された方に感想を記入してもらった「交流会参加ノート」から一部を抜粋して掲載します。交流会の雰囲気や少しでも感じていただければと思います。

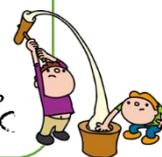
毎年のお米、毎年イベント、おいしい物たくさん、野菜、からあげ、特にお餅!!
そして、みな様への感謝の気持ちとありがとうございます!! 来年も
楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。
飛島村に感謝!! 松山 正昭、妻、茅依奈、正昇



今日は、多くの方と一緒に楽しく交流できてとても嬉しく思います。
被災者の方々の心境を思うと、我々の非常に幸せな今の生活が、当り前のことでは
ないと感じます。
今後とも機会があれば、お互いに助け合えるような行事を盛りあげていきたい
と思います。



お米のおもち、とてもおいしかったです。皆でワイワイ おもちつき、子供にも
しい思い出ができました! 飛島村の方々には、いつも温かく迎えていただき
おいしい食事も用意していただき感謝の気持ちでいっぱいです。
また村の皆さんにお会いできると楽しんでいます。 斎藤 隆



報恩講大根が「味が」して、とってもおいしかったです。
この大根の名前と由来も教えていただきました。
温かいお料理と温かい心もありがとうございました。

「飛島村交流会 大もちつき大会」は、飛島村村長の久野時男さんが敷地を開放してくださり、村長夫人をはじめ、避難者の倍以上の人数の飛島村の皆さんが交流会に参加し、盛り上げてくださいました。

回数が分からなくなるくらい、大人も子どもも、もちつきを堪能しました。新米で、ピカピカふわふわのおもちは最高のごちそうでした。

飛島村の皆さんが3日前から仕込んだという煮物や漬け物、おひたし等、飛島村の野菜を使った、やさしいお母さんの味もいただきました。また、

唐揚げ、ドーナツ、さつまいもポテト、ポップコーン等も用意されていて、子どもたちも大喜びでした。野菜、もち米は地元産、他の食材の産地にも気をつけてくださっていて、細やかな心遣いの連続に感動しました。

飛島村は伊勢湾台風で被災した経験から、ボランティア意識の高い方が多い地域です。私も今まで支えていただいたボランティアの方々の思いを受けついで、子どもたちの代へとつないでいきたいと思います。

（あおぞら編集委員 山本由香）

わたしたちに何ができるんだろう…

東日本大震災から5年近くになります。震災が起きた、あの日、あの時から今日まで「私たちに一体何ができるんだろう？何かができたら…」と学生たちと考えながら一緒に過ごしています。

震災後、学生たちは「自分たちも被災された皆さんのために何かできたら」と動き始めました。当初は募金活動がメインでしたが、愛知県にも多くの皆さんが避難されていると知り、少しでも名古屋の良さを伝え、楽しい思い出を作ってもらうために学生団体「なごやであそび隊」が発足しました。

大学生が子どもたちと遊ぶイベントを催すことで、子どもたちはお兄さん・お姉さんに甘える時間を、親御さんたちには子どもたちを見守りながらゆったりできる時間を持っていただく。参加された方全員の笑顔を目標に、今年も続けて企画させていただきます。



＜キャンプで作ったカレー
をよそうところ＞

今年は恒例の「動物園へ行こう！」「クリスマス会！」を催しました。先日行われたクリスマス会でも関わる学生は60人程におよ

(愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC) 秋田)

びます。クリスマスソングのジャズ演奏、楽器紹介、演劇、大学の教室1階から5階を使った「サンタさんのプレゼントをさがせ」スタンプラリー、キャンドル作りなど盛りだくさんでした。

もう1つ、2013年4月に「ういるく」という学生団体が発足しました。こちらは、避難してきた子どもたちと名古屋とその付近に住む子どもたちが、キャンプを通して親睦を深めることを目的としました。英語の「With」「Walk」を合わせて、「子どもたちの気持ちと共に歩こう」という思いが込められています。年1回のキャンプ活動ですが、それに向けての準備は案外大変なものです。危機管理トレーニング、レクリエーション練習、飯盒やかまどの運営の仕方、トーチの練習とリハーサルキャンプを行いながら、何度も反省点を確認していきます。当日、参加してくれる子どもたちが安全に、楽しい1日を過ごせることを願って！学生たちのアツい思いをこちらも感じてジンとくることが何度もありました。

私たちができることなど、本当に何もありません。でも、皆さんにお会いして、子どもたちがうれしそうにはしゃぐ姿や皆さんのお子さんを見る優しい眼差しを見られる、その瞬間に一緒にいさせていただけることが本当にうれしいです。どうか、少しでも震災の傷が癒されていきますように。

この4年、「なごやであそび隊」「ういるく」を活動してきた学生からのメッセージです☆

僕はこの4年間、ボランティアとしてではなく自分たちの力で誰かを笑顔にしたい！と考えながら活動をしてきました。「ういるく」のキャンプでは1から自分たちで企画し、当日の運営を行うので、大変なこともたくさんありました。しかし、キャンプ中の子どもたちの笑顔や出会えた仲間たちとの別れに涙を浮かべる姿を見て、活動してきてよかったと実感できました。4年間はあっという間で、僕自身も笑顔で楽しく活動できました。僕は、これで卒業だけれど、頼もしい後輩たちが意志を継いで活動してくれると思います。これからの「あそび隊」と「ういるく」にご期待ください！

(文学部教育学科4年 小出 智也)

リレートーク（番外編）

縁あって愛知県に避難されている皆さまへ！

- 「病気していませんか？」
- 「通い慣れたお医者さんはできましたか？」
- 「困ったときにお子さんを預けることができる仲間ができましたか？」
- 「安心できる買い物ができるお店を見つけましたか？」
- 「新しいお仕事は同僚の理解、そしてやりがいがありますか？」
- 「避難元に帰還する方は計画が決まりましたか？」
- 「愛知県をはじめ移住を計画する方は場所が決まりましたか？」



■お祈りします・・・

地震・津波・原発のどれが原因としても、それまでの「日常」を失って悔しい思いをされている方もいらっしゃるかと思います。「日常の何気ない生活」がどれほど大切だったか、早く元の生活を取り戻したい、など、思いはさまざまかと思います。お一人おひとりの寄ってきた歴史はそれぞれまったく別です。かけがえのない生活が営まれてい

ましたね。私はこの5年間、多くの避難されている皆さんにお会いしてきましたが、どなたも尊敬に値する素晴らしい方ばかりです。もうすぐ避難生活が5年になりますが、今後とも、どうかご自分らしい生活を取り戻せることができるようになることを心から祈念いたします

■愛知県被災者支援センターとは・・・

1995年阪神淡路大震災の時に、私が属していた「震災から学ぶボランティアネットの会」（現在の認定NPO法人レスキューストックヤード）が兵庫県から愛知県に避難された方へのご支援をしました。当時は避難者登録票がなかったので、新聞に「名乗ってください」と掲載する手法で探し出し、50世帯ほどの方に兵庫県への帰還のお手伝いと交流会を実施しました。この経験が今生かされています。

震災のあった年（2011年）6月に愛知県から4つのNPOが委託を受けて愛知県被災者支援センターがスタートしました。現在スタッフは常勤4名、

非常勤10名の他に、登録ボランティア42名（あおぞら編集委員のボランティア13名、新聞切り抜きボランティア18名、パソコン入力・発送作業ボランティア11名）などで運営しています。その他にセンターとの協力関係で、託児、一時保育、交流会の開催、相談会、法律、賠償、生活支援品提供、イベント招待、送迎、傾聴、翻訳・通訳、物資配達、就労、学業、住宅、介助、心の支援、アンケート、医療、県民への広報などを、企業・市町村・社協・団体・NPO・個人・マスコミ・専門家などが担ってくださっています。

- ★避難者の自主的な活動・・・何か自主活動をお望みの方にはできる範囲でご支援・ご紹介いたします。広く県内にたくさんの方がさまざまな活動をしていらっしゃいます。
- ★決意・・・私も含めて愛知県被災者支援センターは、できることが限られるかもしれませんが、これからは誠意を尽くして協力いたします。
- ★最後に・・・2月11日（木・祝）の全体交流会（避難者～支援者の別なくほっとできる、励ましあえる、何でも相談できる、温かい交流会）にぜひご参加ください。

（あおぞら編集委員 瀧川裕康）

支援団体紹介（認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード）

被災者の方から普段私たちの支援をしてくれている団体のことを知りたいと話があり、新しいコーナーとして愛知県被災者支援センターに関わる団体を紹介していきます。

1995年1月17日の阪神・淡路大震災がレスキューストックヤード（以下「RSY」）の原点です。この時の経験、出会い、知恵や教訓がその後の活動に繋がっています。2002年3月にNPO法人となり、2015年4月に認定NPO法人として認定されました。

「救援＝レスキュー」のためにヒト・モノ・カネの「蓄え＝ストック」「場所＝ヤード」が必要だという構想が名前の由来です。「寄り添う」「日常から学びあう」「最後のひとりにこだわる」「ひろげる」にこだわって活動しています。

RSYの活動

（1）災害に強いまちづくり

災害から一人ひとりの「命」と「暮らし」を守る地域づくりのために、被災地から学んだ教訓を伝え、防災・減災対策に役立つ知恵やノウハウを提供しています。

- 災害ボランティアコーディネーターの養成
- 平常時の地域防災にかかる各種企画・運営
- 災害時要配慮者（高齢者、障がい者、子どもなど）に対する防災対策の企画・提案

（2）被災者支援活動

地震や水害等によって被災された方々への支援の際は、これまでの経験を活かし、住民主体の復興を目指して息の長い支援に取り組んでいます。今年度の主な活動を紹介します。

- 東日本大震災支援（被災者支援センターの運営以外の活動）
 - ・宮城県七ヶ浜町の復興街づくり応援、檜葉町から宮里仮設住宅（福島県会津美里町）へ避難されている方々との交流企画、被災3県での災害公営住宅等移転後の繋がり作り支援、被災地域での訪問見守り支援のため、企業等からの物資受入れ・送り出し調整。

○関東・東北豪雨支援

- ・ボランティア活動用資器材の貸出し、災害ボランティアセンターや地元NPOのサポート、避難所の環境整備、炊き出し・足湯・サロン活動、生活復興応援企画など。



<防災運動会大声コンテスト>



<足湯ボランティアの様子>

代表理事あいさつ

災害救援の柱は行政ですが、行政だけですべて完結できる災害現場はなく、さまざまなセクターによる応援が不可欠です。特に阪神・淡路大震災以降は、ボランティアに代表される市民セクターの存在価値がますます重要視されています。当法人では、NPOならではの機動力や創造力、粘り強さをモットーに、緊急時の被災者支援活動や平常時

の地域防災力向上のための活動、そして全国の仲間づくりとそのネットワークづくりに取り組んでいます。東日本大震災から間もなく5年。愛知県被災者支援センターの運営にも引き続き尽力していきたいと思っています。今後ともよろしくご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。

代表理事 栗田暢之（愛知県被災者支援センター長兼務）

あいちの **産直&体験施設**
 ~お買いものガイド~ 第9回
 愛知県内で醸造業が盛んな
 2つの地域を中心に特集 **知多・三河編**



産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



第7回に続き、知多・三河地域の長い歴史を受け継ぐ本醸造の味酛（みりん）・醸造酢などの蔵元のご紹介です。調味料を使い、この時期のおもてなし料理をグレードアップさせましょう。

PICK UP

株式会社ミツカン MIM (MIZKAN MUSEUM)



場所： 半田市中村町 2-6

連絡先： 0569-24-5111

営業日時： 9：30～17：00 事前予約制 <木曜日・お盆・年末年始休館>

MIM（ミム・MIZKAN MUSEUM）は、古くから続く運河沿いの黒塀の景観とともに、ミツカンの酢づくりの歴史や醸造の技術、ものづくりへのこだわり、食文化の魅力などを、伝統、革新、環境を大切に次世代へ伝えてゆく施設です。見て、さわって、楽しみ、学べる体験型博物館です。

<知多・三河地域の産地直売所&ふれあい体験施設>

No	施設の名称	住所・場所	QRコード	連絡先
①	三井酢店（酢）	知多郡阿久比町卯坂字姥ヶ谷 60-1		0569-48-4474
②	盛田株式会社（みそ・しょうゆ・たまり・みりん）	常滑市小鈴谷字脇浜 10		0569-37-0733
③	中利株式会社（みそ・たまり）	半田市協和町 1-31		0569-21-0912
④	南蔵 青木弥右衛門（みそ・たまり）	知多郡武豊町里中 58		0569-73-0046
⑤	蔵元 傳右衛門（合名会社 伊藤商店） （みそ・たまり）	知多郡武豊町里中 54		0569-73-0070
⑥	株式会社 丸又商店（みそ・たまり）	知多郡武豊町字里中 152		0569-73-0006
⑦	徳吉醸造株式会社（みそ・たまり）	知多郡南知多町大井字塩屋 10		0569-63-0310
⑧	九重味淋株式会社（みりん）	碧南市浜寺町 2-11		0566-41-0708
⑨	株式会社 角谷文治郎商店（みりん）	碧南市西浜町 6-3		0566-41-0748
⑩	杉浦味酛株式会社（みりん）	碧南市弥生町 4-9		0566-41-0919

●営業時間などをご確認のうえ、お出かけください。

施設のホームページからも詳細を確認いただけます。





旬のお出かけ情報

～ホール～



愛知県内に多数あるクラシック音楽専用ホールおよび多目的ホールを中心に紹介していきます。寒い冬なので暖かい室内で音楽を聴きながら過ごしてみたいかたがでしょうか。

PICK UP

図書館交流プラザりぶら



場 所：岡崎市康生通西 4-71

アクセス：名鉄「東岡崎駅」から徒歩 20 分、名鉄「岡崎公園前駅」・愛知環状鉄道「中岡崎駅」から徒歩 15 分

連絡先：TEL 0564-23-3100 FAX 0564-23-3165



図書館交流プラザ・りぶらには、280 人収容でき、照明や音響の専門オペレーターが常駐するホールがあり、映画上映、各種発表会、講演会、コンサートなど多種多様な催し物が行われています。また、りぶらは、「図書館」「市民活動 | ボランティア」「文化創造 | JAZZ」「交流 | カフェスペース」の 4 つの機能で構成されている複合施設として、会議室や調理室、創作室・スタジオなどの利用ができます。

PICK UP

宗次ホール



場 所：名古屋市中区栄 4-5-14

アクセス：地下鉄「栄駅」12 番出入口より広小路通りを東へ徒歩 4 分

連絡先：052-265-1718



CoCo 壱番屋の創業者である宗次徳二氏が、クラシック音楽を広めるために建てたクラシック音楽専用ホール。お昼間の 1 時間、1000 円で気軽にクラシック音楽を生で聴くことができる音響にこだわったホールです。

<愛知県内のホール一覧>

No	名称	場所	アクセス	QRコード
①	愛知県芸術劇場	名古屋市東区東桜 1-13-2 愛知芸術文化センター内	東山線または名城線「栄駅」から徒歩 3 分。瀬戸線「栄町駅」から徒歩 2 分	
②	瀬戸蔵	瀬戸市蔵所町 1-1	名鉄瀬戸線「尾張瀬戸駅」から東へ 5 分	
③	豊田市コンサートホール・能楽堂	豊田市西町 1-200 豊田参合館 8 階	名鉄豊田線・三河線「豊田市駅」前	
④	アイプラザ豊橋・講堂	豊橋市草間町東山 143-6	豊橋鉄道「南栄駅」から徒歩 8 分、「豊橋駅」からタクシーで 15 分	
⑤	武豊町民会館 ゆめたろうプラザ 輝きホール	知多郡武豊町字大門田 11	名鉄河和線「知多武豊駅」から徒歩 20 分	

●詳しい情報は各施設のホームページ等をご確認ください。



ボランティアスタッフ紹介 ～ 富田祥子さん ～

支援センターのボランティアスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。

第1回はコープあいち組合員の富田祥子さんです。

2014年の3月までコープあいちのコープ相談センターで仕事をしていました。その時に、愛知県被災者支援センターのことを知りました。初めは直接の関わりはなかったのですが、退職を機に被災地の応援をしたいと思い、お菓子を作り、



<富田さんの創作菓子の「なんちゃって栗」>

被災者支援センターへ届けるようになりました。ワカメを使ったスコーンは好評で、皆さんに喜んでいただいています。岩手県の陸前高田と大船渡にも、2度足を運びました。現地の方と話をし、被災地を忘れないことが大事だと感じました。月日が流れ、被災者の皆さんの抱える悩みはさまざまに変化してきています。そんな被災者の皆さんの自立への応援をこれからもしていきたいと思っています。



支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★あま市の絵手紙贈呈式に出席しました。絵を描いてくれた子どもたちに直接、お礼を言うことができました。絵手紙と一緒に温かい気持ちも受け取りました。(K. I)
- ★お茶っこサロンに参加しました。地元企業の施設で最先端技術を体験し、初めてのプロジェクションマッピングも楽しめました。早めのクリスマスプレゼントで「幸せな時間」をいただいた感じでした。ありがとうございます。(Y. Y)
- ★あつという間の1年でした。無事に家族揃って新年を迎えることに感謝しております。皆さまにとりましても、良き年となりますようお祈り申し上げます。(E. K)
- ★愛知県の各地で100年、200年と守り継がれている本醸造の醤油・味噌・酢など、その味わい深さは、蔵ごとに生きる酵母と時代ごとの職人さんたちの汗と苦勞、喜びによって醸されているのだらうと思います。(K. T)
- ★乙種危険物取扱者 5、6 類を同時受験します、皆さんも資格試験など受けてはいかがでしょうか。(J. I)
- ★「原発避難白書」を読みました。関西学院大学災害復興制度研究所・JCN・SAFLAN がまとめたものです。とてもよく整理できていました。(H. T)

<2月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
2月7日(日)	気軽にお茶飲み交流会	東海市
2月11日(祝・木)	第5回全体交流会	熱田区
2月13日(土)	第37回パッチワーククラブ	東区
2月17日(水)	里山を歩きましょう	千種区
2月20日(土)	第41回囲碁クラブ	東区
2月27日(土)	第38回パッチワーククラブ	東区
2月27日(土)	子育てつどいの広場 in 瑞穂区	瑞穂区
2月28日(日)	ふれあいひろば小牧	小牧市

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL : 052-954-6722
FAX : 052-954-6993
Mail : aozora@aichi-shien.net



- 詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。
皆さんのご参加をお待ちしております。